

2 婚 姻

ヤノママ族は一夫多妻の社会であり、彼らは
トーテムを持っており、外婚制である。

近親相姦は禁忌されているが、交叉イトコ
(cross cousin) 婚は優先されている。
これは単系出自による父系制社会においては、

母のきょうだいの子供たちは自分(男)とは別
の集団に所属するためである。この理由から同
じ集団に属する平行イトコ(parallel c
ousin) 婚は禁忌されている。居住に関して
は一般的には夫方居住であるが、相当数にのぼ

◇ 親族名称表

これはミッソンと協力して 作成したもので、シリ
ア族(シリアナ方言)によるものである。

私 の	あなたの	彼/彼女の	孫むすこ 義むすこ きょうだいの むすこ	tanisio a	thanisio a	thanisipa e
ち	あなた	彼/彼女の	孫むすめ 義むすめ きょうだいの むすめ	thathei a	thathei a	thathe a
ち	あなた	彼/彼女の	女が男に 夫	hēaliya	hēaloho e	hēalopò a
ち	あなた	彼/彼女の	交叉いとこ 義兄弟	thùàpiya	thùàp̄hka	thup̄y e
ち	あなた	彼/彼女の	男が女に 妻	soolia	sooli e	sooli
ち	あなた	彼/彼女の	交叉いとこ 義姉妹	natihio a	natihio a	natihip̄a
ち	あなた	彼/彼女の	男が男に 義兄弟 交叉いとこ			
ち	あなた	彼/彼女の	女が女に 義姉妹 交叉いとこ			

るものが妻方居住を行なっている。ここでは分
りやすくするために、形式、規制、居住、要件、
その他に分けてみた。なお、一夫多妻と姉妹一
夫婚をここでは区別せず一夫多妻とした。

婚姻の形式 ヤノママ族は一夫多妻制
(polygyny) の社会である。ここで、今回
我われの入域した部落の一夫多妻の実際を示し
ておく。

◇ 部落別一夫多妻の有無

部 落 名	世帯数	一夫多妻の例
ロベルト部落	18組	有
ブリニョ部落	12組	無
フィアーリョ部落	6組	無
ジュゼ部落	2組	無
ジャコ部落	不明	有
ポスト・インディオ	5組	有
トメ部落	不明	無

ここで＜無＞とあるのは、我われが入った時においてそうであったということであり、一夫一妻とは限らない。

次に具体例をあげておく。

▷ロベルト(44歳) 妻ルアンナ(21歳)
妻ブレンダ(14歳)

夫ロベルトは首長である。ルアンナとブレンダは仲が悪く、話しをしているのを見たことがない。もちろん食事を一緒にすることもない。我われが滞在していた時、ブレンダは妊娠中であつた。

▷アントニオ(46歳) 妻ジュリア(32歳)
妻ローザ(22歳)

ロベルト部落に住み、ジュリアとローザは姉妹である。アントニオは若いローザの方をかわいがっているようである。

▷シビアーノ(46歳) 妻ルイザ(28歳)
妻リラ(18歳)

ロベルト部落。ルイザとリラは姉妹で、彼女たちの父親はアントニオである。この姉妹も仲良くいっている。

▷サンサーン(41歳) 妻マレーナ(36歳)
妻マリウザ(18歳)

ロベルト部落。マレーナはマリウザとの同

居を拒み、マリウザは現在、フィアーリョ部落で母親と生活している。

▷ベレ(23歳) 妻フェリシア(25歳)
妻ワイカの女性(不明)

ロベルト部落。ベレは、新しくワイカ部落(ジャコ首長)の女性と結婚し、そこで生活している。フェリシアの父はロベルトである。その子はフェリシアが育てている。

▷チアゴ(38歳) 妻テレザ(31歳)
妻ロリータ(21歳)

ロベルト部落。チアゴはテレザに年をとりすぎていると言ったために、彼女は怒ってブリニョ部落に行ってしまった。



ブレンダ



マリウザ

▷カメル(32歳)

妻アンナ(38歳)

妻イネス(35歳)

ポストのインディオ。第1夫人アンナはイネスとの同居を嫌がり、仕方なくイネスはロベルト部落で子どもと生活している。



イネス

こうして一夫多妻制をみると、うまくいっているのは、妻同士が姉妹のみで、あとは何となくうまくいっていない。

婚姻の規制 規制には、禁止的規制と優先的規制がある。これについて述べる。

○近親婚禁忌(incest taboo)

近親婚は禁じられている。交叉イトコは結婚でき、平行イトコは結婚できない。しかしながら交叉イトコは優先婚であるのか、そして一面的交叉イトコ婚であるのかどうかというくわしいところまでは最後までわからなかった。

○兄弟逆縁婚(levirate)

1組の夫婦の兄が死亡したとすると、弟が兄嫁と結婚するというのはここではよく聞いた話である。具体例をあげよう。

ブリニョ部落のクリスチーナの夫は、幾年前に死亡した。そこで弟のドットがクリスチーナと結婚した。

ここで婚姻の規制を破っている例を、ミッシェンに聞いた話をもとにして述べてみる。

▷アラキンの場合(シャマタリ族酋長)

彼は、第1夫人との間にできた娘との間に、2人の子供をもうけたという。その子供2人は健康に育っていると聞く。彼の周囲の者も

こうしたことは嫌っているが、彼が酋長であるため知らぬふりをしているという。

▷カーロスとメリーの場合(ロベルト部落)

カーロスの兄弟はメリーの父にあたり、メリーにとって当然カーロスは父と呼ぶ人にあたるので結婚できない。これも規制を破っている。

▷ロベルトの場合(ロベルト部落酋長)

ロベルトは第1夫人のルアンナに対し、結婚前に「お姉さん」と呼んでいたという。過去にロベルトはルアンナの姉にあたるマリアとも結婚しており、この時も同様である。また第2夫人のブレンダを結婚前に「お母さん」と呼んでいたという。このような呼び方をするのは、家系図上では考えられなくても、同一リネージに属していたということはある。多くのインディオに尋ねたが、いずれもこのことには批判的であった。



クリスチーナ



ドット

婚姻の居住 妻方居住形態をとっている人も多い。一般的に女性は他の部落に嫁いで

いくが、あまり遠くに嫁ぐのは好まない。交換婚もかなり多く見られると思う。両親が近くに住み、若い夫婦の場合はひんばんに両方の部落に行き来してそれぞれ長期にわたって滞在している。次ぎにいく人かの男性の出身地をあげる。

◇男性の出自

なまえ	部落名	出身地
アントニオ	ロベルト	マラカナ
イサキ	〃	コノボマテリ
ジョージ	〃	バラフリ
シビリアーノ	〃	ホノババマ
ロレンシオ	〃	ママビテリ
ラウレンチノ	〃	ママビテリ
リオナウド	〃	ママビナリ
ホキホキ	フィアーリョ	アラサ
ジャコ	ジャコ	ムワジャイ— カトリマニ

婚姻の要件 母系制の社会では婚資を伴わないものが多いが、ここも婚資というものはないように思える。最近結婚した例をみたがヤノマム族には財産となるべき家畜はなく、また皿や布や家財道具もほとんどない。新婚夫婦も家財道具らしいものは何もなく、結婚前とほとんど変わらない。しかし、物質的なものでなく労働力という婚資はあるのかもしれない。

婚姻年齢 未開社会の婚姻は一般に早い。ここでも同様に早い。幼児結婚の正確なことはわからないが、かなり幼い頃に決っているものと思える。ここでは結婚年齢既婚者の最低年齢などを出して推測することにする。

ワウデマの妻になった少女



◇部落別婚姻年齢表 () は推定年齢

部落名	ロベルト	ブリニョ	ジャコ	フィアーリョ
既婚男子の最年少者	ココ(13) アンドレ(18)	テモチオ(18)		マリオ(19)
未婚男子の最年長者	マルコン デズ(21) レオン(19) レオナルド(15)	アルベルト(23)		コンスタンチノ(15)
既婚女子の最年少者(※は子供を持つ人)	ハイムンダ(14)	ボネカミ(16) ナシタミ(17) オリンピ(17) アミ(17)	ワウデマの妻(8)	アリシア(16)
未婚女子の最年長者	フーチ(13)	デナ(15) ズイラ(14)		カルメリータ(13)

このように見ると、男子は20歳になると結婚するし、女子は15歳ぐらいになるとほぼ全員結婚していることがわかる。ロベルト部落のカーロスの娘は3歳で、すでにエドワルド(同部落)の第2夫人に決っている。

○夫婦の年齢差

ワウデマ(55歳)——妻(8歳)
 ロベルト(44歳)——ブレンダ(14歳)
 コヨ(13歳)——妻(18歳)
 アントニオ(46歳)——ローザ(22歳)





ハイムンダ



ベンジャミンと孫ほどのボネカ

シビリアーノ(46歳)——リラ(16歳)
 ベンジャミン(58歳)——ボネカ(16歳)
 アルフレッド(23歳)——アナ(38歳)
 夫婦の年齢差をみると両者が初婚という場合よりも、再婚あるいは第2夫人をとった場合に年齢差は開いているようである。ワウデマにあって、今度の妻は3人目以上の妻であろうし、ロベルトにとっては少なくとも5人目以上の妻である。コヨは初婚であるが、コヨの妻になった女性には以前夫がいたし、アントニオにとってローザは少なくとも4人目以上の妻である。また、ベンジャミンの年からみてもボネカは数人目の妻であろう。このようにみえてくると、20歳以上の未婚女性がこの社会にいないことはいわずける。

離婚 婚資の伴わない婚姻は離婚しやすいのかもしれない。しかし今回の調査においてこの婚資となる具体的な確証はなかった。一夫多妻制の社会では、比較的女性の再婚は簡単であり、その例が多い。

▷ロベルト部落のアンドレ(18)とリンダ(17)
 現在彼らはそれぞれ再婚している。アンドレはアリタと、リンダはベルナウドとである。20歳未満同士の離婚であり再婚である。現在アンドレ夫婦はブリニョ部落と行き来している。リンダの夫婦も、ベルナウドがフィアーリョ部落出身なので行き来している。
 ▷ホキホキ(27)とカロリーナ(28)
 ホキホキは現在フィアーリョ部落にてルシア(20)と再婚し、カロリーナもロナルド(21)

リンダ



ホキホキ



ルシア



と再婚して、ブリニョ部落で生活している。
カロリーナという女性は昔、有数の美人で今
はブリニョ部落のリーダー格。

▷ロベルト(44)とメリー(21)

メリーの方が逃げだしたという。メリーは後
にカーロスと結婚した。両者とも現在はロベ

ルト部落で生活している。

離婚した夫婦が仲よくしていたのを見かける
ことは少なかったが、別に仲が悪いというよ
うなことはなさそうだ。

なお、婚前・外交渉については“人の一生・性”
の項で説明。

＝ 美 女 討 論 会 ＝

我われはいつもこの部落で一番美しいのは、あの女性だ、いや誰だれ
だということで、血を見るケンカになるのである。そこで公平な投票に
より、ミス・ヤノマムを選んだ。この報告書の中には女性たちの顔写真
が何枚か載っているが合わせて見ていただきたい。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| I リンダ (ロベルト部落) | VI ルシア (フィアーリョ部落) |
| II ルアンナ(ロベルト部落) | VII ボネカ (ブリニョ部落) |
| III マリウザ(フィアーリョ部落) | VIII ハイムンダ(ロベルト部落) |
| IV コヨの妻(ロベルト部落) | IX ブレンダ(ロベルト部落) |
| V ディナ (ブリニョ部落) | X カルメリータ(ブリニョ部落) |

Y. M